

SMA拡大Hammersmith 運動機能評価スケール (HFMSE) スコアシート

Expanded Hammersmith Functional Motor Scale for SMA

監修

東京女子医科大学 臨床ゲノムセンター 所長・特任教授／
東京女子医科大学 遺伝子医療センター ゲノム診療科 特任教授
齋藤 加代子 先生

監修

東京女子医科大学 リハビリテーション科 教授
猪飼 哲夫 先生

監修

東京女子医科大学病院 リハビリテーション部 理学療法士 主任
長谷川 三希子 先生

These materials were developed as part of a collaborative effort between the Pediatric Neuromuscular Clinical Research Network (PNCRN), the Jennifer Trust for Spinal Muscular Atrophy and the International Spinal Muscular Atrophy Consortium (iSMAC) and are reproduced with permission for the purpose of training healthcare professionals in these assessment tools developed for spinal muscular atrophy (SMA) patients.



SMA拡大Hammersmith運動機能評価スケール (HFMS) スコアシート

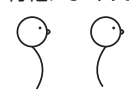
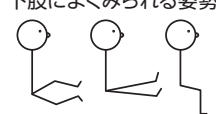
Expanded Hammersmith Functional Motor Scale for SMA

氏名: _____ 生年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日
 評価日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 所要時間: _____
 脊椎手術日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 評価者: _____

現時点で最高の移動能力に丸をつけてください

全く移動できない、寝返り、臀部を引きずって移動、腹這い/四つ這い、杖/歩行器/歩行車を用いた歩行、装具を用いた歩行、自力歩行

コメント:

Smartnet & PNCR		SMA Hammersmith運動機能評価スケール (HFMS)				2009年3月7日	
項目	指示	2	1	0	LBC	点数	コメント
1 台/床での座位 台または床の上で座位を保持する 最高の状態を記録する	手で支えないで、台または椅子の上に3つ数える間座ってください(背中が支持なし、足は支持あり、またはなし)	手の支持なしで3つ数える間もしくはそれ以上、座位を保持できる	片手支持で3つ数える間、座位を保持できる	両手支持で座位を保持できる、または座位を保持できない			第1項目 脊椎によくみられる姿勢  下肢によくみられる姿勢 
2 長座位 両足をまっすぐ伸ばす=膝関節は屈曲してもよいが、膝蓋骨は天井を向き、両足関節の間隔は10cm未満	手で支えないで、床または台の上に両足をまっすぐ伸ばして3つ数える間座ってください	床または台の上で、手の支持なしで3つ数える間、長座位を保持できる	床または台の上で、片手支持で3つ数える間、長座位を保持できる	両手を用いて3つ数える間、長座位を保持できる、または長座位を保持できない			脊椎および下肢にみられる姿勢に丸をつけてください
3 座位で片手を頭部に挙上 手は耳より上で頭部に触れる	首を曲げないで、片手を頭まで挙げてください	頭部および体幹は動かさずに、片手を頭部まで挙上できる	頭部を屈曲させることで、片手を頭部まで挙上できる	頭部および体幹を動かしても、片手を頭部まで挙上できない			右/左
4 座位で両手を頭部に挙上 手は耳より上で頭部に触れる	首を曲げないで、両手を同時に頭まで挙げてください	頭部および体幹は動かさずに、両手を頭部まで挙上できる 手は体に這わせない	頭部を屈曲もしくは側屈する、または手を体に這わせながら挙げるか片手ずつ挙げることで、両手を頭部まで挙上できる	両手を頭部まで挙上できない			
5 背臥位から側臥位へ	左右両側へ横向きになるまで寝返りしてください	左右両側へ背臥位から側臥位に寝返りできる	片側のみ背臥位から側臥位に寝返りできる 右/左	左右両側とも背臥位から側臥位に寝返りできない			両肩を結ぶ線が床と垂直になり、体幹および骨盤が体と一列になる
6 腹臥位から右回りで背臥位へ	左右両側へうつぶせから仰向けに寝返りしてください	上肢を使わずに、右回りで背臥位に寝返りできる	上肢で押ししたり引っ張ったりすることで、背臥位に寝返りできる	背臥位に寝返りできない			
7 腹臥位から左回りで背臥位へ	手はなるべく使わないようにしてください	上肢を使わずに、左回りで背臥位に寝返りできる	上肢で押ししたり引っ張ったりすることで、背臥位に寝返りできる	背臥位に寝返りできない			
8 背臥位から右回りで腹臥位へ	左右両側へ仰向けからうつぶせに寝返りしてください	上肢を使わずに、右回りで腹臥位に寝返りできる	上肢で押ししたり引っ張ったりすることで、腹臥位に寝返りできる	腹臥位に寝返りできない			
9 背臥位から左回りで腹臥位へ	手はなるべく使わないようにしてください	上肢を使わずに、左回りで腹臥位に寝返りできる	上肢で押ししたり引っ張ったりすることで、腹臥位に寝返りできる	腹臥位に寝返りできない			
10 座位から背臥位へ	座っている姿勢から、ゆっくりと仰向けになってください	側臥位を介して、または衣服を利用して、ゆっくり背臥位になることができる	前方への転倒および横転を通じて横になることができる	できない、またはひっくり返る			

LBC: 拘縮のため制限あり

項目	指示	2	1	0	LBC	点数	コメント
11 前腕支持	肘から先を床について体を支え、その姿勢を3つ数える間保ってください	両肘をついて体を支え頭部を挙上し、その姿勢を3つ数える間保持できる	介助によって課題姿勢をとらせれば、その姿勢を3つ数える間保持できる	できない			
12 腹臥位から頭部を挙上	両腕を体の横に置いて頭を持ち上げ、その姿勢を3つ数える間保ってください	上肢を体側に置いて頭部を挙上し、その姿勢を3つ数える間保持できる	上肢を前方に置いて頭部を挙上し、その姿勢を3つ数える間保持できる	できない			
13 手支持	両手を床について体を支え、その姿勢を3つ数える間保ってください	手支持で頭部を挙上し、その姿勢を3つ数える間保持できる	介助によって手支持をとらせれば、その姿勢を3つ数える間保持できる	できない			
14 背臥位から座位へ	うつぶせにならないで仰向けから座ってください	背臥位から、または側臥位を介して座位になることができる	腹臥位または床を向くことで座位になることができる	できない			
15 四つ這い	四つ這いになって頭を持ち上げ、その姿勢を3つ数える間保ってください	四つ這いになって頭部を挙上し、その姿勢を3つ数える間保持できる	介助によって課題姿勢をとらせれば、その姿勢を3つ数える間保持できる	できない			
16 四つ這い移動	前に這って進んでください	前方に這って進むことができる 両手両膝を2回以上動かす	両手両膝を1回動かす	できない			
17 背臥位から頭部を挙上	両腕を胸の前で組んだまま頭を持ち上げて、3つ数える間つま先を見てください	背臥位で、頭部は正中線上で顎を胸に近づけ、その姿勢を3つ数える間保持できる	頸部を屈曲せずに頭部を挙上し、その姿勢を3つ数える間保持できるが、頭部側屈を伴う	できない			
18 支持あり立位	片手を支えにして、3つ数える間立っててください	片手支持で3つ数える間、立位を保持できる	臀部を含まない体幹の最小限の介助のみで、3つ数える間、立位を保持できる	膝、臀部の介助によって、3つ数える間、立位を保持できる、またはできない			
19 支持なし立位	何にもつかまらずに、3つ数える間立っててください	つかまらずに、3つ数える間もしくはそれ以上、立位を保持できる	つかまらずに、3つ数える間、立位を保持できる	瞬間的に(3つ数えるより短い間)、立位を保持できる、またはできない			
20 歩行	何も触らずに歩いてみてください	補助なしで5歩以上歩行できる	補助なしで2から4歩歩行できる	できない			
点数		2の個数	1の個数	0の個数	合計得点		/40

LBC: 拘縮のため制限あり

コメント

PNCR		SMA拡大Hammersmith運動機能評価スケール(HFMSE)追加モジュール				2009年3月7日	
項目	指示	2	1	0	LBC	点数	コメント
21 背臥位での右股関節屈曲	右膝を胸まで持つてくるように脚を曲げてください	右股関節を完全に屈曲できる	右股関節と膝関節を可動域の10%以上屈曲できる	できない			
22 背臥位での左股関節屈曲	左膝を胸まで持つてくるように脚を曲げてください	左股関節を完全に屈曲できる	左股関節と膝関節を可動域の10%以上屈曲できる	できない			
23 膝立ちから右片膝立ちへ	左足を前に出し足底を床につけ右片膝立ちになり、腕を使わず、その姿勢を10数える間保ってください	上肢の支持なしで、10数える間、片膝立ちを保持できる姿勢を変えるために上肢は使える	上肢で支持すれば、10数える間、片膝立ちを保持できる	できない			
24 膝立ちから左片膝立ちへ	右足を前に出し足底を床につけ左片膝立ちになり、腕を使わず、その姿勢を10数える間保ってください	上肢の支持なしで、10数える間、片膝立ちを保持できる姿勢を変えるために上肢は使える	上肢で支持すれば、10数える間、片膝立ちを保持できる	できない			
25 膝立ちから左足を前に出し立位へ	手を使わずに、膝立ちから左足を前に出して立ち上がってください(実演が必要な場合あり)	上肢の支持なしでできる	両膝にかかっている体重を移動することができる(上肢の支持あり/なしにかかわらず)	できない			
26 膝立ちから右足を前に出し立位へ	手を使わずに、膝立ちから右足を前に出して立ち上がってください(実演が必要な場合あり)	上肢の支持なしでできる	両膝にかかっている体重を移動することができる(上肢の支持あり/なしにかかわらず)	できない			
27 立位から床座位へ	ゆっくりと床に座ってください腕はなるべく使わないようにしてください	上肢を使わずに、崩れ落ちることなく座位になることができる	上肢を使って、または崩れ落ちながら座位になることができる	できない			
28 スクワット	低い椅子に座るようにしゃがんでください	上肢の支持なしでスクワットができる(股関節および膝関節を90度以上屈曲)	上肢で支持すれば、スクワットができる(10%以上)	始めることができない			
29 前方に30cmジャンプ	この線からあちらの線に向かって、できるだけ遠くまで両足でジャンプしてください	両足同時に30cm以上のジャンプができる	両足同時に5から30cm未満のジャンプができる	両足同時にジャンプができない			
30 手すりにつかまって階段を昇る	片側の手すりにつかまって階段を昇ってください	片側の手すりにつかまって足を左右交互に出し、4段昇ることができる	片側の手すりにつかまって2から4段昇ることができる足の運び方は問わない	片側の手すりにつかまって2段昇ることができない			
31 手すりにつかまって階段を降りる	片側の手すりにつかまって階段を降りてください	片側の手すりにつかまって足を左右交互に出し、4段降りることができる	片側の手すりにつかまって2から4段降りることができる足の運び方は問わない	片側の手すりにつかまって2段降りることができない			
32 上肢の支持なしで階段を昇る	今度は、手すりにつかまらずに階段を昇ってください	上肢の支持なしで足を左右交互に出し、4段昇ることができる	上肢の支持なしで2から4段昇ることができる足の運び方は問わない	上肢の支持なしで2段昇ることができない			
33 上肢の支持なしで階段を降りる	今度は、手すりにつかまらずに階段を降りてください	上肢の支持なしで足を左右交互に出し、4段降りることができる	上肢の支持なしで2から4段降りることができる足の運び方は問わない	上肢の支持なしで2段降りることができない			
点数		2の個数	1の個数	0の個数	合計得点		/66

製造販売元 [資料請求先]

バイオジェン・ジャパン株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目4番1号

2018年9月作成
SPI-JPN-0571
SPI056MA01